



ふじみ

第 158 号

平成31年 4月 1日

発行人 社会福祉法人みちのく協会
責任者 理事長 工藤 和子
施設 特別養護老人ホーム富士見荘
ケアハウスアーベイン八幡平
松尾デイサービスセンター
介護相談所陽だまり
(富士見荘指定訪問介護事業所・富士見荘指定居宅介護支援事業所)
地域密着型介護老人福祉施設はらからの里

岩手県八幡平市松尾寄木第11地割13番地1
電話 0195(78)2455(代) FAX 0195(78)2467
E-mail fujimiso@rnac.ne.jp
URL http://www.rnac.ne.jp/~urbane/

題字：福田 常雄 氏

「新年度を迎えて」

社会福祉法人 みちのく協会
理事長 工藤 和子

今年、天皇陛下の退位によって、五月から新たな元号が告示しとなります。私も「昭和」・「平成」・「新元号」と三つの時代を生きることになり、歴史の深さをしみじみと感じております。

当協会は、法人設立から四十五周年を迎えます。開設当初の役員の方々の志を受け継ぎ、これからも地域の皆様方へ、より良い豊かな暮らし、また、安心した暮らしを提供できるように役員一同、心を新たにしているところでございます。そこで、今年度取り組みもうと思っている事業の重点項目をここに記したいと思います。

一、地域貢献事業の推進について
現在、八幡平市との協働で生活支援体制整備事業を進めております。この事業は、既存の介護保険サービ

スの枠を超えたサービスを創り出す活動です。地域の方がお互いに住み慣れた地域で支え合うためのボランティア活動の推進といった新たな地域貢献事業に積極的に参画していきます。

二、法人の中長期計画の策定について
計画策定の目的は、法人の基本理念、経営理念を基に地域福祉ニーズや経営環境の変化に対応し、社会福祉法人としての当協会が目指す将来像に向かって安定した事業運営を行うためのものです。計画の策定には、全職種、全職員が参加し、共通理解をはかりながら進めて参ります。地域の皆様に必要とされる法人を目指します。

三、働きやすい職場づくりについて
介護人材が足りなくなるとの報道が連日なされ、外国人の方に介護を担ってもらう時代となっています。当法人では、昨年、介護助手研修を

行い、地域の方に短時間入ってもらい介護の補助的な仕事をしていただいております。職員にとって働きやすい職場環境を整えることが結果的にご利用者様に提供されるサービスの質に大きく影響するものと感じております。働きやすい職場環境をつくることで、ご利用者様に満足のいく暮らしに繋がっていただくと考えています。

最後に、前述したことを実現するためには、地域の方からのご意見を頂かなければ、自分達にとって都合の良いことだけになってしまいますので、地域の皆さんの声を聞く機会も創っていかねばならないと思っております。新たな一年、どうぞよろしくお願いいたします。



特別養護老人ホーム

富士見荘

☎(0195) 78-2455

救急救命講習会

二月六日、施設の援護部(相談・支援・看護・介護・訓練)の職員全員を対象に救急救命講習会を行いました。これは、喀痰吸引等安全対策委員会の活動で、一年に一度、必ず実施しなければならない講習会です。今年からは、救急救命講習の指導者研修を受けた職員が、消防士さんからの指導でAEDの使い方を指導していました。いざという時のために訓練また訓練です。



芸術家集団

一月には「富士山と羽子板の絵葉書き」を、三月には「ヒナゲシの花」を創りました。通いながら面々に新たな仲間も加わり、思い思いの作品に仕上げていました。出来上がった絵葉書きを「孫に便りを送ろう」などとお孫さんの話で盛り上がっていました。



神様・仏様がいらっしやいました

恒例行事ではありますが、改めてご紹介します。三月二十二日に鷺連寺の副住職さまに彼岸供養を、三月二十九日に職員による大黒舞をそれぞれ行いました。今では見ることができなくなつた日本文化を富士見荘では見ることが出来ます。継承していくことが大切ですね。



4月1日で100歳を迎えられます



ハツさんお誕生日おめでとう



松尾デイサービスセンターだより

☎(0195) 78-3720

「平成」もあとわずかに迫り、新元号を迎える今年度ですが、時代の変遷に伴い松尾デイサービスでも新たな動きがあります。これまでの職員が考えた余暇活動に参加していただくサービスマスター、利用者様自身に好きな余暇活動を選んでいただく「選択レクの週」を設けました。職員にとっても初の試みで不慣れなところがあると思いますが、利用者様の意見を聞きながら試行錯誤し、より質の高いサービスの提供に努めてまいります。今年度もよろしくお願いいたします。

輪投げ大会

毎年恒例輪投げ大会が行われました！慣れた手つきで投げ、連続的に入れる熟練者が多く、的に入るたびに周りからは拍手が沸き盛り上がりました。今回の上位三名は次の通りです。おめでとうございます！

- 第一位 田代 要四郎様
- 第二位 佐々木 ミツ工様
- 伊藤 孝志様



所長杯カラオケ大会

松尾デイサービスで第一回所長杯カラオケ大会が開催されました！これまでカラオケは行っていただけのは初めてです。皆さん緊張しながらマイクを持っていましたが、次々と高得点が飛び出し、誰が一位になってもおかしくない接戦となりました！「一人で歌うのはしよすじゃ」と言って遠慮していた方も数人で一緒に歌い、普段のカラオケとは違った雰囲気を楽しまれていました。今回の上位三名を発表します！

- 第一位 吉田 弘子様
- 第二位 遠藤 チヨ様
- 佐々木 スエ子様

節分行事

一月二十七日～二月二日の一週間、節分行事が行われました。今年も柏台保育所、寄木保育所、松野保育所の子供たちが遊びに来てくれました！子供たちは歌や踊りを披露し、利用者の皆さんとたくさん触れ合いました。年齢差はひ孫にあたるくらいでしょうか。子供たちのかわいらしい演出を見て涙ぐみ、普段は見られない愛情のこもった笑顔が見られました。

利用者様も子供たちを迎えるにあたり、縫った雑巾や塗り絵で彩った鬼の絵を入れた袋に豆を入れて、子供たちにプレゼントしました。子供たちは大喜び！保護者の方から感謝のご連絡をいただくほどでした。

余興に来ていただいた、柏台保育所、寄木保育所、松野保育所の皆さん、ありがとうございました！



地域密着型介護老人福祉施設
はらからの里

☎(0195)
68-7880

【ミズキ団子作り】

一月の行事として、ミズキ団子作りをしました。森子自治区の方から今年もミズキを頂き、利用者の方と一緒に団子を木に付ける作業をしました。みなさん「ほお！ミズキがまだあるんだな！」「懐かしいな」と、大変喜ばれている様子。しばらく飾った後は、砕いておかきにして、甘酒と一緒に振舞いました。みなさん「美味しいね」と、ニコニコされていました。



【タラ鍋パーティー】

施設長が、タラを釣ってきてくれました。大きなタラを栄養士に調理してもらい、利用者さんにお振舞をしました。

ノンアルコールビールとタラ鍋で乾杯。みなさん「美味しいね！」と、喜んで召し上がっていました。ノンアルコールビールを飲んで「昼間っからビールが飲めて幸せだな」と、少しほろ酔いの利用者の方もいて、楽しいタラ鍋パーティーとなりました。



【松野保育所で「豆まき」】

二月と言えば節分。今年も松野保育所の園児達の所に赤鬼と青鬼がやってきました。

園児達が楽しく「鬼はそと〜♪福はうち〜♪」と歌っている教室に、大きな体をした鬼たちが、いきなり入ってきたから、さあ大変！園児達はパニックです！

「怖いよ〜！」「ごめんなさい！」と、しゃくりあげて泣く子供達に、鬼たちは「お母さん、お父さん、先生たちの言う事をきちんと聞くように」と、伝えると園児達はみんな「良い子にします！」と、約束をして、最後はみんなで記念写真撮影。すっかりみんなと仲良くなって、鬼たちはご機嫌で帰って行きました。



リゾート型ケアハウス
アーベイン八幡平

☎(0195)
78-2710

「気持ち新たに」

ケアハウスアーベイン八幡平

施設長 箱石 裕

暖冬と言われた冬も過ぎてみれば、結構厳しい日々もあったなあと思いがたりますが、こうして花ほころぶ四月を迎えてみると、大きな事故もなく、また、インフルエンザの流行等にも巻き込まれずに、無事乗り切れたことにほっとし、それを支えてくれた多くの方々に心より感謝するばかりです。

さて先般開かれた法人の理事会において事業計画及び予算について承認いただいたところですが、その一端をご紹介します。

アーベイン八幡平は生活支援を柱とする軽費老人ホームですから、毎年取り組む仕事に大きな変化はありません。しかしながら入居の皆さんの生活環境は、天候に晴雨があるようにいつも流動的ですから、いつでもその流れに対応できるように準備を怠らぬようにすることが必要です。そのひとつに施設の老朽化の問

題があります。築後二十年を経過しているのに傷んできているところもあっても決して不思議ではないのです。そして、そのために入居の皆様にご不便をおかけすることがあってもいけません。そこで、今年度から建物を中心に各種設備等の傷みぐあいの調査に取り組むことなど住環境の整備に力を注ぐことにしました。

一方、入居の皆様へのサービスの提供のあり方についても、入居の皆様が「自分で自分らしく生きる」とができるように支援する「自立支援」を基本に健康で明るく安心して暮らせる生活の場として生き甲斐のある快適な生活をおくっていただける環境の維持向上に努めることとしております。具体的には「より住みやすいアーベイン八幡平をめざして」を目標に、従来から取り組んでいる趣味、余暇活動のさらなる充実、生活支援サービスへの柔軟な取り組み、さらには、楽しみながら喜んでいただける食事の提供の実現に努めます。

また、思わぬ事情から介護サービスが必要になられた方々には、介護保険法に基づく「特定施設入居者生活介護」を駆使し、その方々に合った介護サービスを提供し、安心して

暮らせる環境を用意することに努めることにいたしました。

以上のように、取り組むべき課題は数多くありますが、急ぐべきもの、重要さの大きいものなど内容を吟味しつつ、気持ちを新たに組み組むこととしております。今後ともに温かい叱責、ご支援をよろしくお願いいたします。

「防災について」

近年、災害に対する概念が変化して来ていると思われまます。

特に「想定外」という言葉がよく使用されますが意味を考えてみたいと思います。

「想定外」とは、「事前に予想した範囲を超えていること」であり、「想定」とは「状態や状況」を仮に設定することをいう。

避難訓練では、あらかじめどのような被害が出るか予想した「被害想定」を作成しております。人が作る「想定」ですので考えられる範囲内(想定内)での「想定」となりますが、自然が相手となると予想できないことも多く、防ぐ為に膨大なお金がかかることも予想されます。



先日、福島県いわき市へ行つたところ、小名浜港のところに大きな商業施設が建設されておりました。この商業施設では、東日本大震災の経験を活かし、一階はすべて駐車場で津波を受け流す構造となっており、地震や津波が発生した時は時間を問わず店舗通路や屋上を開放し避難出来るようになっていっているということです。

アーベイン八幡平の避難訓練は七月と三月の年二回行っておりますが、七月は火災想定し三月は災害を想定して行っております。昨年度三月の避難訓練では、大雨による浸水を想定し二階・三階への避難を行い、本年度は、地震を想定し安否確認等のため食堂ホールまで避難しました。来年度の避難訓練については、ニュース等を日頃みているもので、考えられるものを想定し、行つてみたいと思っております。



愛

筆
波

題字 関口作治氏

社会福祉法人 みるのく協会 基本理念

社会福祉法人みるのく協会の基本理念は「愛と献身」です。利用者一人ひとりの気持ちを大切にし、心とこめた介護をいたします。

富士見荘の動き

1	11	鏡開き
	22	布アート教室（絵葉書き）
2	6	施設内救命救急講習会
3	13	布アート教室（ヒナゲシ）
	22	春彼岸供養
	29	ボランティア・陽だまり研修会

富士見荘利用者状況

(平成31年3月15日現在)

市町村	男	女	計
八幡平市	13	58	71
岩手町	0	1	1
その他市町村	0	3	3
合計	13	62	75

富士見荘入退居者状況

入居者	1月			退居者	1月	
	3	(1)	1		(0)	
	2月	0	(0)		3	(2)
	3月	5	(1)	2	(0)	

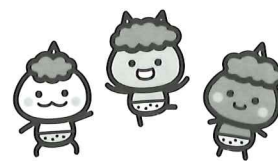
※入居()内は再入居。退居()内は死亡

富士見荘短期入所生活介護

市町村	1月	2月	3月
八幡平市	237	219	227
他市町村	5	0	0
合計	242	219	227

配食サービス

人数	月		
	1月	2月	3月
利用者数	298	233	260



編集後記

今年のゴールデンウィークは、天皇の退位に伴って十連休になります。働き方改革関連法案が施行され、残業時間の削減や有給休暇の取得の義務付けなど、労働者にとってはとても良い法律がどんどん創られていきます。権利を獲得するということは、一方で労働に対する個人の責任が増していくことになると思います。日本では、「人に仕事が就く」という考えが強く「人財」とも表現しますが、欧米では「仕事に人が就く」という考えが主流です。仕事がなくなればバツサリと解雇されたりします。新元号を迎えるにあたり、ちょうどその中間ぐらいを目指して、合理的に仕事と家庭のバランスを考えて、時間の使い方を見つけようと思っている昭和生まれの私です。

(松尾)